

学生のオススメ本 ～感想カードより～

『ピラミッド 巨大な王墓建設の謎を解く』
デビッド・マコーレイ（作） 鈴木八司（訳）

岩波書店

配架場所：一般書架 請求番号：242||MAC

ピラミッドを作る際の石は、どうやって切って型を整えているのか…?ずっと疑問でした。でもこの本を読んで、銅かドレライトという非常に硬い石で作られた道具で切られていることが分かり、驚きました。

本当にそのような道具で硬い石が切れるのか、それとも、そのような道具で切れるような柔らかい石があるのか…?この本を読んでまた疑問が生まれることとなりました。でも、大変面白く興味深い本でした。

(By J)

『イノセント・ゲリラの祝祭』

海堂尊（著） 宝島社

配架場所：学生選書コーナー

請求番号：913.6||KAI

東城大学医学部付属病院不定愁訴外来責任者である、万年講師田口公平と、厚生労働省の鬼っ子役人白鳥圭輔が共に向かうは、霞が関。チーム・バチスタ事件で、国の解剖制度は正常に機能していないということが明るみにされた。チーム・バチスタでも解剖の代わりに用いられたAi。Aiとは、死者をCTなど画像で診断するシステムのこと。Aiをめぐる、官僚や医者への駆け引きが会議で繰り広げられてゆく。法律や制度も分かって面白い!!

(By 杉良太郎)

『妻を看取る日 国立がんセンター名誉総長の喪失と再生の記録』

垣添忠生（著） 新潮社

配架場所：闘病記コーナー 請求記号：916||KAK

国立がんセンター名誉総長の医師と病弱な妻が共に生きていく物語です。医師は毎日多忙な日々を送っており、妻はいつも夫を支える側でした。しかし、妻は病弱のため、3回もがんに侵されるのです。妻の希望で夫は妻を懸命に看病しましたが、妻は亡くなってしまいます。夫は、妻を喪った悲しきでなかなか立ち直ることができず苦しみますが、きちんと生活することを妻が望んでいるであろうと思い、がんばって生きていこうとします。立ち直るのは難しいことですが、がんばってみることが大切だと思いました。(By なくる)

『医療保育 ぜひ知っておきたい小児科知識』

梶谷喬、寺田喜平（著） 診断と治療社

配架場所：一般書架 請求番号：493.9||KAJ

芸能人の子どもが、乳幼児突然死症候群で亡くなったというニュースを何度か見たことがあって、“朝起きると、子どもが息をしていなかった”と親が言うのを聞いて、本当に突然死してしまうのかと胸が痛かった。でも、この本ではそのSIDS発生のリスクファクターや、あおむけ寝をするなどの防止対応についても書かれていて、どうすることも出来ない病気ではないということが分かる。

(By マヨネーズ)